



2022年度 人事部門の抱える課題とその取り組みの実態調査 人的資本経営に向けた、人事が今後重視するキーワード

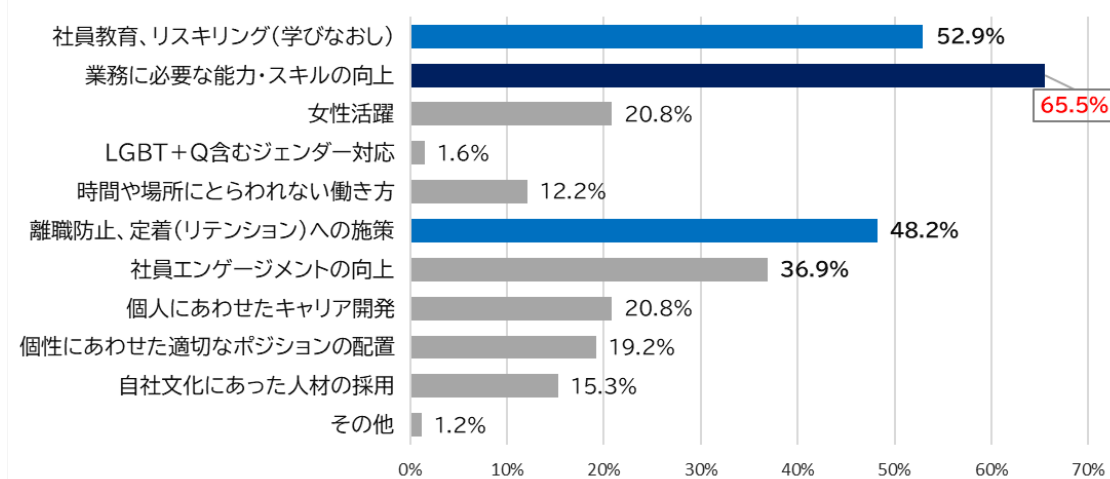
九州生産性本部（会長：酒見俊夫・西部ガス(株)会長）は今後の人事施策の参考に供するため、会員企業の人事部門の責任者を中心にご協力を得て、「人事部門の抱える課題とその取り組みの実態調査」を実施いたしました。

本調査は本年度で12回目となり、毎年人事部門の新たなトピックとなりうる設問を加えながら九州企業の動向を調査しております。

人的資本経営が注目されているため、今回新たに“人事戦略として今後取り組んでいく上で重視していきたいキーワード”について尋ねたところ、「業務に必要な能力・スキルの向上」が一番多く、次いで「社員教育、リスキリング(学び直し)」「離職防止、定着(リテンション)への施策」が上位3位の回答となりました。

人材価値の上昇に繋がる「業務に必要な能力やスキルの向上」に取り組むとともに、DXの進展や慢性的な人員不足を背景に、リスキリングや離職防止・リテンションなどを重視していく企業が多いことがうかがえる結果となりました。

【問12 今後重視したい人事戦略のキーワードは？】（3項目まで選択）



本調査では、その他、離職防止や女性活躍など以下の12項目にて調査を行っております。

本調査の全項目についての結果は、当本部ホームページ掲載の「調査結果概要」や「報告書(冊子)」をご参照ください。(報告書をご希望の方はご連絡ください)

◆ホームページ(報告・機関紙ページ) <https://qpc.or.jp/var/rev1/0003/4447/2021jinji.pdf>

【調査概要】

調査対象 九州生産性本部の会員企業を中心とする九州地域企業・団体組織の人事部門の責任者

調査期間 2022年11月

調査方法 アンケート用紙を郵送の後、Web・FAXによる回答

回答数 255組織(回答率23.2%)

調査項目

- | | | |
|----------------|----------------|---------------------------|
| (1) 直面している人事課題 | (2) 能力開発(教育) | (3) 柔軟な働き方(働き方改革)に関する取り組み |
| (4) 副業・兼業 | (5) ジョブ型雇用【復活】 | (6) 離職防止【新規】 |
| (7) 高齢者継続雇用 | (8) 女性社員の活躍推進 | (9) 女性活躍に関する情報公表【新設】 |
| (10) 人事部門のDX推進 | (11) 採用活動 | (12) 今後重視したいキーワード【新設】 |

<本件に関するお問い合わせ先>

公益財団法人九州生産性本部 広報担当：三小田(さんこだ)・中尾

TEL: 092-771-6481 (対応時間 月～金 9:00～18:00) Email: support@qpc.or.jp